

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IA/German IA						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜5	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語文法 ドイツ語の発音とつづり字の関係から始めて、動詞の現在人称変化、冠詞類の格変化、前置詞の用法などについて学ぶ。簡単な会話文を記憶する。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ドイツ語とはどんな言語か。発音練習。</li> <li>2) 発音とつづり字、数。</li> <li>3) 人称代名詞と動詞の現在人称変化（1）、語順。</li> <li>4) 動詞の現在人称変化（つづき）。</li> <li>5) seinとhabenの用法。</li> <li>6) 名詞の性。</li> <li>7) 前回のつづき。</li> <li>8) 名詞の格変化。</li> <li>9) 動詞の現在人称変化（2）。</li> <li>10) 前回のつづき。命令法。</li> <li>11) 前置詞。</li> <li>12) 前回のつづき。</li> <li>13) 総復習。</li> <li>14) 前期試験。</li> <li>15) 試験の答案返却と個別指導。</li> </ol>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	実習
評価方法 Evaluation	評価は期末テスト 20%、小テスト 20%、クラスでの練習 60% を総合して評価する。学期末テストで60点をとることが単位取得には必要である。
履修上の注意 Requirements and policy	授業に出てくる新しい単語は予習してくること。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IA/German IA						
担当教員	柿沼 伸明						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語文法 ドイツ語の発音とつづり字の関係からはじめて、基本的な動詞の現在人称変化とその例外、名詞の性の概念、定冠詞と不定冠詞の格変化、前置詞の用法などについて学ぶ。簡単な会話文を記憶する。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ドイツ語とはどんな言語かの説明、発音とつづり字</li> <li>2) 発音練習、1～10の数</li> <li>3) 人称代名詞と動詞の現在人称変化（1）、平叙文と疑問文の語順</li> <li>4) 動詞の現在人称変化（2）</li> <li>5) 名詞の性と複数形</li> <li>6) 冠詞類＋名詞の格変化（1）</li> <li>7) 冠詞類＋名詞の格変化（2）</li> <li>8) 疑問詞を使った疑問文</li> <li>9) 動詞の現在人称変化（3）</li> <li>10) 動詞の命令形</li> <li>11) 前置詞と格支配（1）</li> <li>12) 前置詞と格支配（2）</li> <li>13) 総復習</li> <li>14) 質疑応答と試験</li> <li>15) 試験の答案返却と個別指導</li> </ol>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	小テスト20%、試験80%
履修上の注意 Requirements and policy	毎回出席すること。自宅で復習と予習をすること 授業数3分の2以上の出席が必要
教科書 Textbook(s)	山本洋一「ドイツ語はやさしい（改訂版）」（白水社） ISBN: 978-4-560-01387-8
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	教科書の献本を希望

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IA/German IA						
担当教員	武田 良材						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語の初級文法を学ぶ。重要な文法事項と、初心者には重要でない事項とを区別し、効率的にドイツ語力を身につけることを目指す。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ドイツ語について、辞書の選び方、発音</li> <li>2. つづり字、数</li> <li>3. 人称代名詞と動詞の現在人称変化</li> <li>4. 重要不規則動詞の現在人称変化</li> <li>5. 語順</li> <li>6. 名詞の性</li> <li>7. 複数形</li> <li>8. 並列接続詞</li> <li>9. 名詞の格変化</li> <li>10. 人称代名詞の格変化</li> <li>11. 不規則動詞の現在人称変化</li> <li>12. 命令法</li> <li>13. 総復習</li> <li>14. 復習と試験</li> <li>15. 試験の答案の返却と個別指導</li> </ol>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	文法を解説し、出席者に練習問題をやらせてもらう。暗記すべき重要項目については小テストを課す場合がある。
評価方法 Evaluation	受講態度（積極性、課題、小テスト）50%、試験 50%。 試験で一定の成果を示すことを必須条件とする。
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席が必須。独和辞典を携えて受講すること。
教科書 Textbook(s)	山本洋一 著「ドイツ語はやさしい」白水社、ISBN4-560-01387-X
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (ドイツ語)						
科目名	ドイツ語IB/German IB						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜5	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語文法 ドイツ語の発音とつづり字の関係から始めて、動詞の現在人称変化、冠詞類の格変化、前置詞の用法などについて学ぶ。簡単な会話文を記憶する。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 不定冠詞＋形容詞＋名詞の格変化</li> <li>2) 不定冠詞＋形容詞＋名詞の格変化</li> <li>3) 定冠詞＋形容詞＋名詞の格変化</li> <li>4) 定冠詞＋形容詞＋名詞の格変化</li> <li>5) 形容詞＋名詞の格変化</li> <li>6) 動詞の過去形と現在完了形、どうしの3基本形</li> <li>7) 動詞の過去形と現在完了形、どうしの3基本形</li> <li>8) 動詞の過去形と現在完了形、どうしの3基本形</li> <li>9) 前置詞等による格支配</li> <li>10) 前置詞等による格支配</li> <li>11) 動詞の未来形</li> <li>12) 動詞の未来形</li> <li>13) 動詞の未来形</li> <li>14) 復習と練習</li> <li>15) 復習と学期末テスト</li> </ol>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	実習
評価方法 Evaluation	評価は期末テスト 20%、小テスト 20%、クラスでの練習 60% を総合して評価する。学期末テストで60点をとることが単位取得には必要である。
履修上の注意 Requirements and policy	授業に出てくる新しい単語は予習してくること。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IB/German IB						
担当教員	柿沼 申明						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語文法 前期に学んだ事柄を確認しつつ、冠詞類の格変化、冠詞と形容詞と名詞などが組み合わさったときの格変化、分離動詞・非分離動詞、不定詞の用法、動詞の三基本形、話法の助動詞などを学ぶ。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 前期の復習。簡単な文の発音練習と意味解釈</li> <li>2) 定冠詞類と不定冠詞類の格変化</li> <li>3) 冠詞類＋形容詞＋名詞の組み合わせの格変化</li> <li>4) 形容詞の用法。形容詞＋名詞の格変化</li> <li>5) 分離動詞と非分離動詞（1）</li> <li>6) 分離動詞と非分離動詞（2）</li> <li>7) 不定詞の用法</li> <li>8) 動詞の三基本形（不定詞・過去・過去分詞）</li> <li>9) 従属節詞に導かれる副文の語順</li> <li>10) 話法の助動詞（1）</li> <li>11) 話法の助動詞（2）</li> <li>12) 辞書を使ったドイツ文の読解練習</li> <li>13) 辞書を使ったドイツ文の読解練習</li> <li>14) 質疑応答と試験</li> <li>15) 試験の答案返却と個別指導</li> </ol>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	小テスト20%、試験80%
履修上の注意 Requirements and policy	毎回出席すること。自宅で復習と予習をすること 授業数3分の2以上の出席が必要
教科書 Textbook(s)	山本洋一『ドイツ語はやさしい（改訂版）』（白水社）
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IB/German IB						
担当教員	武田 良材						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語の初級文法を学ぶ。重要な文法事項と、初心者には重要でない事項とを区別し、効率的にドイツ語力を身につけることを目指す。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前置詞</li> <li>2. 前置詞と定冠詞の融合形</li> <li>3. 定冠詞類と不定冠詞類</li> <li>4. 形容詞の語尾変化</li> <li>5. 分離動詞と非分離動詞</li> <li>6. zu不定詞</li> <li>7. 動詞の三基本形</li> <li>8. 動詞の過去人称変化</li> <li>9. 従属接続詞</li> <li>10. 話法の助動詞</li> <li>11. 話法の助動詞の人称変化</li> <li>12. 完了形</li> <li>13. 総復習</li> <li>14. 復習と試験</li> <li>15. 試験の答案の返却と個別指導</li> </ol>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	文法を解説し、出席者に練習問題をやらせてもらう。暗記すべき重要項目については小テストを課す場合がある。
評価方法 Evaluation	受講態度（積極性、課題、小テスト）50%、試験 50%。 試験で一定の成果を示すことを必須条件とする。
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席が必須。独和辞典を携えて受講すること。
教科書 Textbook(s)	山本洋一 著「ドイツ語はやさしい」白水社、ISBN4-560-01387-X
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IC						
担当教員	武田 良材						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	定型の会話表現ならびに単語を学ぶ。耳と口を慣らすばかりでなく、ドイツ語圏の文化への理解を深める。
授業計画 Syllabus	第1回 文字と音、学習の仕方 第2回 あいさつ 第3回 名前 第4回 出身1 第5回 Lektion1の補足 第6回 紹介 第7回 出身2 第8回 数1 第9回 数2 第10回 Lektion2の補足 第11回 勉強 第12回 授業 第13回 言語 第14回 Lektion3の補足 第15回 復習
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	全員に応答を求め、基本的なフレーズの発声練習を行います。ペアでのドイツ語会話、簡単な独作文、リスニングなどを通じて、使えるドイツ語を身につけます。さらに受講者の関心に即して、単語の紹介や、文化の説明を行います。
評価方法 Evaluation	受講態度（積極性）50%、課題（口述課題、提出課題）50%。期末試験は行いません。積極的参加と発音を特に評価します。
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席が必須。 授業中の発言機会は限られますから、ドイツ語の口慣らしは家で十分に行ってください。
教科書 Textbook(s)	佐藤修子 他『Szenen 1 場面で学ぶドイツ語』三修社、ISBN978-4-384-12244
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IC						
担当教員	武田 良材						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	定型の会話表現ならびに単語を学ぶ。耳と口を慣らすばかりでなく、ドイツ語圏の文化への理解を深める。
授業計画 Syllabus	第1回 文字と音、学習の仕方 第2回 あいさつ 第3回 名前 第4回 出身1 第5回 Lektion1の補足 第6回 紹介 第7回 出身2 第8回 数1 第9回 数2 第10回 Lektion2の補足 第11回 勉強 第12回 授業 第13回 言語 第14回 Lektion3の補足 第15回 復習
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	全員に応答を求め、基本的なフレーズの発声練習を行います。ペアでのドイツ語会話、簡単な独作文、リスニングなどを通じて、使えるドイツ語を身につけます。さらに受講者の関心に即して、単語の紹介や、文化の説明を行います。
評価方法 Evaluation	受講態度（積極性）50%、課題（口述課題、提出課題）50%。期末試験は行いません。積極的参加と発音を特に評価します。
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席が必須。 授業中の発言機会は限られますから、ドイツ語の口慣らしは家で十分に行ってください。
教科書 Textbook(s)	佐藤修子 他『Szenen 1 場面で学ぶドイツ語』三修社、ISBN978-4-384-12244
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語ID						
担当教員	武田 良材						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	定型の会話表現ならびに単語を学ぶ。耳と口を慣らすばかりでなく、ドイツ語圏の文化への理解を深める。
授業計画 Syllabus	第1回 自己紹介 (Lektion1から2までの復習) 第2回 勉強 (Lektion3の復習) 第3回 趣味1 第4回 趣味2 第5回 趣味3 第6回 Lektion4の補足 第7回 食事1 第8回 食事2 第9回 食事3 第10回 Lektion5の補足 第11回 家族 第12回 職業 第13回 性格 第14回 Lektion6の補足 第15回 復習
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	全員に応答を求め、基本的なフレーズの発声練習を行います。ペアでのドイツ語会話、簡単な独作文、リスニングなどを通じて、使えるドイツ語を身につけます。さらに受講者の関心に即して、単語の紹介や、文化の説明を行います。
評価方法 Evaluation	受講態度（積極性）50%、課題（口述課題、提出課題）50%。期末試験は行いません。積極的参加と発音を特に評価します。
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席が必須。 授業中の発言機会は限られますから、ドイツ語の口慣らしは家で十分に行ってください。
教科書 Textbook(s)	佐藤修子 他『Szenen 1 場面で学ぶドイツ語』三修社、ISBN978-4-384-12244
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語ID						
担当教員	武田 良材						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	定型の会話表現ならびに単語を学ぶ。耳と口を慣らすばかりでなく、ドイツ語圏の文化への理解を深める。
授業計画 Syllabus	第1回 自己紹介（Lektion1から2までの復習） 第2回 勉強（Lektion3の復習） 第3回 趣味1 第4回 趣味2 第5回 趣味3 第6回 Lektion4の補足 第7回 食事1 第8回 食事2 第9回 食事3 第10回 Lektion5の補足 第11回 家族 第12回 職業 第13回 性格 第14回 Lektion6の補足 第15回 復習
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	全員に応答を求め、基本的なフレーズの発声練習を行います。ペアでのドイツ語会話、簡単な独作文、リスニングなどを通じて、使えるドイツ語を身につけます。さらに受講者の関心に即して、単語の紹介や、文化の説明を行います。
評価方法 Evaluation	受講態度（積極性）50%、課題（口述課題、提出課題）50%。期末試験は行いません。積極的参加と発音を特に評価します。
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席が必須。 授業中の発言機会は限られますから、ドイツ語の口慣らしは家で十分に行ってください。
教科書 Textbook(s)	佐藤修子 他『Szenen 1 場面で学ぶドイツ語』三修社、ISBN978-4-384-12244
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IIA/German IIA						
担当教員	V. Grecko						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	すでに1年間ドイツ語を履修した学生を対象に、ドイツ語の基礎文法の確実な習得を目指します。さらに、日常的话题に関してドイツ語を聞き、話し、読み、書くために必要な基礎知識を定着させ、語彙を増やすことを目的とします。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年次で学習したことの復習</li> <li>2. 動詞の現在人称変化</li> <li>3. 不規則変化動詞の現在人称変化</li> <li>4. 定冠詞類の格変化</li> <li>5. 不定冠詞類の格変化</li> <li>6. 人称代名詞の格変化とその用法</li> <li>7. 前置詞の使い方（1）</li> <li>8. 前置詞の使い方（2）</li> <li>9. 形容詞の語尾変化</li> <li>10. 形容詞の名詞化</li> <li>11. 分離動詞と非分離動詞（1）</li> <li>12. 分離動詞と非分離動詞（2）</li> <li>13. 今学期のまとめ</li> <li>14. 今学期の復習と期末テスト</li> <li>15. テストの返却と答案のチェック</li> </ol>
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	期末テスト50%、小テスト50%
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席がないと、受講資格を失います。
教科書 Textbook(s)	山本洋一著『ドイツ語はやさしい』白水社、 ISBN:978-4-560-01387-8
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IIA/German IIA						
担当教員	V. Grecko						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	すでに1年間ドイツ語を履修した学生を対象に、ドイツ語の基礎文法の確実な習得を目指します。さらに、日常的话题に関してドイツ語を聞き、話し、読み、書くために必要な基礎知識を定着させ、語彙を増やすことを目的とします。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年次で学習したことの復習</li> <li>2. 動詞の現在人称変化</li> <li>3. 不規則変化動詞の現在人称変化</li> <li>4. 定冠詞類の格変化</li> <li>5. 不定冠詞類の格変化</li> <li>6. 人称代名詞の格変化とその用法</li> <li>7. 前置詞の使い方（1）</li> <li>8. 前置詞の使い方（2）</li> <li>9. 形容詞の語尾変化</li> <li>10. 形容詞の名詞化</li> <li>11. 分離動詞と非分離動詞（1）</li> <li>12. 分離動詞と非分離動詞（2）</li> <li>13. 今学期のまとめ</li> <li>14. 今学期の復習と期末テスト</li> <li>15. テストの返却と答案のチェック</li> </ol>
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	期末テスト50%、小テスト50%
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席がないと、受講資格を失います。
教科書 Textbook(s)	山本洋一著『ドイツ語はやさしい』白水社、 ISBN:978-4-560-01387-8
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IIB/German IIB						
担当教員	V. Grecko						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語の基礎文法に関する知識を確実に習得するとともに、基礎的なドイツ語能力をのばすことを目標とします。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前期の復習</li> <li>2. 動詞の三基本形</li> <li>3. 過去形</li> <li>4. 接続詞</li> <li>5. 話法の助動詞</li> <li>6. 現在完了形（1）</li> <li>7. 現在完了形（2）</li> <li>8. 未来形</li> <li>9. 受動態（1）</li> <li>10. 受動態（2）</li> <li>11. 関係代名詞（1）</li> <li>12. 関係代名詞（2）</li> <li>13. 今学期のまとめ</li> <li>14. 今学期の復習と期末テスト</li> <li>15. テストの返却と答案のチェック</li> </ol>
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	期末テスト50%、小テスト50%
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席がないと、受講資格を失います。
教科書 Textbook(s)	山本洋一著『ドイツ語はやさしい』白水社、 ISBN:978-4-560-01387-8 適宜プリントも使用します。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IIB/German IIB						
担当教員	V. Grecko						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語の基礎文法に関する知識を確実に習得するとともに、基礎的なドイツ語能力をのばすことを目標とします。
授業計画 Syllabus	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前期の復習</li> <li>2. 動詞の三基本形</li> <li>3. 過去形</li> <li>4. 接続詞</li> <li>5. 話法の助動詞</li> <li>6. 現在完了形（1）</li> <li>7. 現在完了形（2）</li> <li>8. 未来形</li> <li>9. 受動態（1）</li> <li>10. 受動態（2）</li> <li>11. 関係代名詞（1）</li> <li>12. 関係代名詞（2）</li> <li>13. 今学期のまとめ</li> <li>14. 今学期の復習と期末テスト</li> <li>15. テストの返却と答案のチェック</li> </ol>
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	期末テスト50%、小テスト50%
履修上の注意 Requirements and policy	10回以上の出席がないと、受講資格を失います。
教科書 Textbook(s)	山本洋一著『ドイツ語はやさしい』白水社、 ISBN:978-4-560-01387-8 適宜プリントも使用します。
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (ドイツ語)						
科目名	ドイツ語IIC/German IIC						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語IICでは教科書「Szenen I」を使用し、第7課(持ち物)、第8課(住居)、第9課(時刻と日付)を扱います。授業では単独、ペア、あるいはグループで練習します。話すこと、読むこと、理解することを練習するため、規則正しく積極的な授業への参加が必要です。教材をマスターし、使えるようになるためには、もちろん家での学習や宿題をすることも必要ですが、大事なのは授業での練習です。
授業計画 Syllabus	教科書に沿って授業を行います。各Lektionに約4週間かかります。 第1回: 1年めの復習 第2回: Lektion 7-Dialog 1 & 2 (傘はドイツ語で何といいますか) 第3回: Lektion 7-Dialog 3 & 4 (DVDプレーヤーを持っていますか) 第4回: Lektion 7-Dialog 5, Übung (この指輪をどう思いますか) 第5回: Lektion 7-練習とテスト 第6回: Lektion 8-Wohnen & Zimmer (ミュラーさんの住宅) 第7回: Lektion 8-Übungen, (パウルの部屋、前置詞) 第8回: Lektion 8-Dialog 1 & 2 (ご両親とお住まいですか) 第9回: Lektion 8-練習とテスト 第10回: Lektion 9-Dialog 1, (時間と時計) 第11回: Lektion 9-Dialog 2 & 3 (何時に起きますか) 第12回: Lektion 9-Dialog 4 (今日は何日ですか) 第13回: Lektion 9-まとめと復習 第14回: 復習と学期末テスト 第15回: テストの返却
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	実習
評価方法 Evaluation	評価は期末テスト 20%、小テスト(2) 20%、クラスでの練習 60% を総合して評価する。 学期末テストで60点をとることが単位取得には必要である。
履修上の注意 Requirements and policy	授業に出てくる新しい単語は予習してくる。
教科書 Textbook(s)	佐藤修子・下田恭子・Heike Papenthin・Gesa Oldehaver 著者 Szenen 1 場面で学ぶドイツ語 三修社 ISBN 4-384-12244-6
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (ドイツ語)						
科目名	ドイツ語IIC/German IIC						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語IICでは教科書「Szenen I」を使用し、第7課(持ち物)、第8課(住居)、第9課(時刻と日付)を扱います。授業では単独、ペア、あるいはグループで練習します。話すこと、読むこと、理解することを練習するため、規則正しく積極的な授業への参加が必要です。教材をマスターし、使えるようになるためには、もちろん家での学習や宿題をすることも必要ですが、大事なものは授業での練習です。						
授業計画 Syllabus	教科書に沿って授業を行います。各Lektionに約4週間かかります。 第1回: 1年めの復習 第2回: Lektion 7-Dialog 1 & 2 (傘はドイツ語で何といいますか) 第3回: Lektion 7-Dialog 3 & 4 (DVDプレーヤーを持っていますか) 第4回: Lektion 7-Dialog 5, Übung (この指輪をどう思いますか) 第5回: Lektion 7-練習とテスト 第6回: Lektion 8-Wohnen & Zimmer (ミュラーさんの住宅) 第7回: Lektion 8-Übungen, (パウルの部屋、前置詞) 第8回: Lektion 8-Dialog 1 & 2 (ご両親とお住まいですか) 第9回: Lektion 8-練習とテスト 第10回: Lektion 9-Dialog 1, (時間と時計) 第11回: Lektion 9-Dialog 2 & 3 (何時に起きますか) 第12回: Lektion 9-Dialog 4 (今日は何日ですか) 第13回: Lektion 9-まとめと復習 第14回: 復習と学期末テスト 第15回: テストの返却						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	実習						
評価方法 Evaluation	評価は期末テスト 20%、小テスト(2) 20%、クラスでの練習 60% を総合して評価する。 学期末テストで60点をとることが単位取得には必要である。						
履修上の注意 Requirements and policy	授業に出てくる新しい単語は予習してくる。						
教科書 Textbook(s)	佐藤修子・下田恭子・Heike Papenthin・Gesa Oldehaver 著者 Szenen 1 場面で学ぶドイツ語 三修社 ISBN 4-384-12244-6						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	外国語科目 (ドイツ語)						
科目名	ドイツ語IID/German IID						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語IIDでは教科書「Szenen I」を使用し、第10課(週末の後)、第11課(街と大学)、第12課(休暇の前)を扱います。授業では単独、ペア、あるいはグループで練習します。話すこと、読むこと、理解することを練習するため、規則正しく積極的な授業への参加が必要です。教材をマスターし、使えるようになるためには、もちろん家での学習や宿題をすることも必要ですが、大事なのは授業での練習です。
授業計画 Syllabus	教科書に沿って授業を行います。各Lektionに約4週間かかります。 第1回:前期の復習 第2回:Lektion 10-Dialog 1 (週末何しましたか?) 第3回:Lektion 10-Übungen (現在完了系) 第4回:Lektion 10-Dialog 2 & 3 (キャンプをしたことがありますか?) 第5回:Lektion 10-Dialog 4 & 5 (どうでしたか?) 第6回:Lektion 10-練習とテスト 第7回:Lektion 11-Dialog 1 & 2 (ここをまっすぐ行って下さい) 第8回:Lektion 11-Dialog 3 (大学への交通手段は?) 第9回:Lektion 11-Dialog 4 & 5 (講演はどこで行われてますか?) 第10回:Lektion 11-練習とテスト 第11回:Lektion 12-Dialog 1 & 2 (休日中何をするつもりですか?) 第12回:Lektion 12-Übungen (前置詞) 第13回:Lektion 12-Dialog 3, 4 & 5 (夏にはどこへ行こうか?) 第14回:復習と学期末テスト 第15回:テストの返却
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	実習
評価方法 Evaluation	評価は期末テスト 20%、小テスト(2) 20%、クラスでの練習 60% を総合して評価する。 学期末テストで60点をとることが単位取得には必要である。
履修上の注意 Requirements and policy	授業に出てくる新しい単語は予習してくる事。
教科書 Textbook(s)	佐藤修子・下田恭子・Heike Papenthin・Gesa Oldehaver 著者 Szenen 1 場面で学ぶドイツ語 三修社 ISBN 4-384-12244-6
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (ドイツ語)						
科目名	ドイツ語IID/German IID						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	ドイツ語IIDでは教科書「Szenen I」を使用し、第10課(週末の後)、第11課(街と大学)、第12課(休暇の前)を扱います。授業では単独、ペア、あるいはグループで練習します。話すこと、読むこと、理解することを練習するため、規則正しく積極的な授業への参加が必要です。教材をマスターし、使えるようになるためには、もちろん家での学習や宿題をすることも必要ですが、大事なのは授業での練習です。
授業計画 Syllabus	教科書に沿って授業を行います。各Lektionに約4週間かかります。 第1回:前期の復習 第2回:Lektion 10-Dialog 1 (週末何しましたか?) 第3回:Lektion 10-Übungen (現在完了系) 第4回:Lektion 10-Dialog 2 & 3 (キャンプをしたことありますか?) 第5回:Lektion 10-Dialog 4 & 5 (どうでしたか?) 第6回:Lektion 10-練習とテスト 第7回:Lektion 11-Dialog 1 & 2 (ここをまっすぐ行って下さい) 第8回:Lektion 11-Dialog 3 (大学への交通手段は?) 第9回:Lektion 11-Dialog 4 & 5 (講演はどこで行われてますか?) 第10回:Lektion 11-練習とテスト 第11回:Lektion 12-Dialog 1 & 2 (休日中何をするつもりですか?) 第12回:Lektion 12-Übungen (前置詞) 第13回:Lektion 12-Dialog 3, 4 & 5 (夏にはどこへ行こうか?) 第14回:復習と学期末テスト 第15回:テストの返却
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	実習
評価方法 Evaluation	評価は期末テスト 20%、小テスト(2) 20%、クラスでの練習 60% を総合して評価する。 学期末テストで60点をとることが単位取得には必要である。
履修上の注意 Requirements and policy	授業に出てくる新しい単語は予習してくる。
教科書 Textbook(s)	佐藤修子・下田恭子・Heike Papenthin・Gesa Oldehaver 著者 Szenen 1 場面で学ぶドイツ語 三修社 ISBN 4-384-12244-6
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IIIC						
担当教員	柿沼 伸明						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業の目的、概要 Objectives and content	最初は、ドイツ語の語順（従属文や動詞の定形後置）、接続法I式II式の動詞の形態、受動文などを学び、初級文法の知識を完成させることを目指します。ある程度、ドイツ語のテキストが読めるようになったと判断した段階で、それほど長くない、意味的なまとまりのあるテキストを使って、テキスト読解の練習をする予定です。						
授業計画 Syllabus	第1回：授業概要・成績評価の説明、副文の動詞の位置 第2回：定形後置のときの語順 第3回：受動態 第4回：状態受動 第5回：関係代名詞と指示代名詞（1） 第6回：関係代名詞と指示代名詞（2） 第7回：接続法の形態、間接話法と接続法I式 第8回：非現実話法と接続法II式 第9回：簡単なテキストの購読 第10回：簡単なテキストの購読 第11回：簡単なテキストの購読 第12回：簡単なテキストの購読 第13回：簡単なテキストの購読 第14回：質疑応答と試験 第15回：試験問題の解説						
参照URL Referance URL(s)							
授業方法 Class type	講義						
評価方法 Evaluation	試験100%						
履修上の注意 Requirements and policy	ドイツ語IIの既修者のうち、もっとドイツ語を勉強したい人が履修して下さい。 試験はドイツ語の長文問題で、辞書持ち込み可です。						
教科書 Textbook(s)	毎回、プリントを配布します。						
参考書 Reference(s)	辞書を買う必要があります。 電子辞書でも構いませんが、活字の辞書を買うのであれば、三省堂『クラウン独和辞典』第4版を推薦します。						
備考 Remarks							

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IIID						
担当教員	柿沼 申明						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	3~4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	それほど難しくないドイツ語の文章に接していきたいと思います。辞書を引きながら、ドイツ語の表現法に慣れてください。毎回、読み物は、前もってコピーして配布します。ドイツ語I・IIを履修した人は是非ともチャレンジしてみてください。
授業計画 Syllabus	第1回：ドイツ語の文の語順 復習 第2回：話法の助動詞 詳解（1） 第3回：話法の助動詞 詳解（2） 第4回：関係代名詞 詳解（1） 第5回：関係代名詞 詳解（2） 第6回：テキスト購読 第7回：テキスト購読 第8回：テキスト購読 第9回：テキスト購読 第10回：テキスト購読 第11回：テキスト購読 第12回：テキスト購読 第13回：テキスト購読 第14回：質疑応答と試験 第15回：試験問題の解説
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	試験100%
履修上の注意 Requirements and policy	ドイツ語IIの既修者のうち、もっとドイツ語を勉強したい人が履修して下さい。 試験は長文問題で、辞書持ち込み可です。
教科書 Textbook(s)	毎回、プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	辞書を買う必要があります。 電子辞書でも構いませんが、活字の辞書を買うのであれば、三省堂『クラウン独和辞典』第4版を推薦します。
備考 Remarks	